

第6回カーテスト・チャイナ2018

新エネルギー時代における新技術 自動車の計測および品質保証



日本電計の中国法人・電計貿易は日刊工業新聞社と共催で7月4-7日の4日間、中国・上海で「第6回カーテスト・チャイナ2018」を開いた。中国の中心地である上海は、企業や人の集積地。今回の展示会のテーマは「新エネルギー時代における新技術」。中国で進む車載関係の需要に応えるため、出展社は自信の製品を展示した。

ごあいさつ 日本電計 柳丹峰 社長

「第6回カーテスト・チャイナ2018」の出展者、来場者、関係者のみなさまに感謝申し上げます。

当社は計測機器および試験装置の商社として自動車設計、品質管理、製造技術の発展に寄与すべく本展示会・セミナーを開催いたしました。

世界の自動車産業の約3割を占める中国企業と日本の産業界の交流促進に貢献する所存です。

車載・車向け特化のメーカー集結

24社のブースが展示会場に立ち並び、今回と展示会出展の意義を再確認する。

も例年と比べ、車載・各種試験用の多機能A/C(交流)電源装置のひとこととしてカタログに掲載されるなど、世の中に広まってはいる主力製品であり、電磁環境適合性(EMC)試験など、自動車産業への期待が大きい。

規格試験に使用される。また今回は中国で初めて、車載部品の評価を皮切りに日本だけでなく、海外への認知度を拡大しようとしている。

EV充電需要に
EV化需要に
対応

HOKIは、研究開発から生産ラインまで多岐にわたって活用が見込まれる計測器全般を展示した。2017年11月に公開した「EV制御装置の機械特性を測るのに優れている」という高橋常夫会長は「電動化・自動化の用途に、日本の計測技術が生かされる」とし、中国での「新エネルギー」として、EVの普及に積極的な姿勢を見せている。

「慣性モーメント」測定装置

初出展の「慣性モーメント」測定装置は、車載関係の電子制御ユニット(ECU)の信号記録をマルチに測定できる。完全タッチパネル操作を採用し、測定と同時に即時保存可能なことも特徴。

また中国国内ではEVバスなど大型車体が増えており、それに伴って大型電池など高電圧化の需要も高い。従来HOKIは最大入力電圧450Vまでだったのが、高耐圧バッテリーハイテスター「BT3564」は、最大入力電圧1000Vまで測定可能。中国のEV化の需要に対応する。

「慣性モーメント」測定装置

初出展の「慣性モーメント」測定装置は、車載関係の電子制御ユニット(ECU)の信号記録をマルチに測定できる。完全タッチパネル操作を採用し、測定と同時に即時保存可能なことも特徴。

また中国国内ではEVバスなど大型車体が増えており、それに伴って大型電池など高電圧化の需要も高い。従来HOKIは最大入力電圧450Vまでだったのが、高耐圧バッテリーハイテスター「BT3564」は、最大入力電圧1000Vまで測定可能。中国のEV化の需要に対応する。

「慣性モーメント」測定装置

初出展の「慣性モーメント」測定装置は、車載関係の電子制御ユニット(ECU)の信号記録をマルチに測定できる。完全タッチパネル操作を採用し、測定と同時に即時保存可能なことも特徴。

また中国国内ではEVバスなど大型車体が増えており、それに伴って大型電池など高電圧化の需要も高い。従来HOKIは最大入力電圧450Vまでだったのが、高耐圧バッテリーハイテスター「BT3564」は、最大入力電圧1000Vまで測定可能。中国のEV化の需要に対応する。

電動・自動化、日本の技術生かす

中国では18年から順次販売を開始する。無用可能な表面温度センサー「A型シリコン」は、「人がやらずに、温度・電圧は1本で測定できる」という特徴がある。また「人がやらずに、温度・電圧は1本で測定できる」という特徴がある。

「新エネルギー」は自動車関係において中国で主流となっているテーマだ。ターゲットとなる車種は、EV、ハイブリッド、プラグインハイブリッドなど。中でもEVは、中国で最も注目を集めている。

EV化需要に
EV化需要に
対応

HOKIは、研究開発から生産ラインまで多岐にわたって活用が見込まれる計測器全般を展示した。2017年11月に公開した「EV制御装置の機械特性を測るのに優れている」という高橋常夫会長は「電動化・自動化の用途に、日本の計測技術が生かされる」とし、中国での「新エネルギー」として、EVの普及に積極的な姿勢を見せている。

「慣性モーメント」測定装置

初出展の「慣性モーメント」測定装置は、車載関係の電子制御ユニット(ECU)の信号記録をマルチに測定できる。完全タッチパネル操作を採用し、測定と同時に即時保存可能なことも特徴。

また中国国内ではEVバスなど大型車体が増えており、それに伴って大型電池など高電圧化の需要も高い。従来HOKIは最大入力電圧450Vまでだったのが、高耐圧バッテリーハイテスター「BT3564」は、最大入力電圧1000Vまで測定可能。中国のEV化の需要に対応する。

「慣性モーメント」測定装置

初出展の「慣性モーメント」測定装置は、車載関係の電子制御ユニット(ECU)の信号記録をマルチに測定できる。完全タッチパネル操作を採用し、測定と同時に即時保存可能なことも特徴。

また中国国内ではEVバスなど大型車体が増えており、それに伴って大型電池など高電圧化の需要も高い。従来HOKIは最大入力電圧450Vまでだったのが、高耐圧バッテリーハイテスター「BT3564」は、最大入力電圧1000Vまで測定可能。中国のEV化の需要に対応する。

キーコム 技術・営業部マネージャー 原田 英治氏

レーダー取り付け位置・軸ズレ角度を自動的に測定

キーコム(東京都豊島区)は、安全なレーダー取り付け位置、軸ズレ角度を自動的に測定するレーダー取り付け装置を開発している。最近では水泳場やプールなど、屋外での使用が増えている。この装置は、レーダーの取り付け位置、軸ズレ角度を自動的に測定し、調整することができる。その結果、レーダーの寿命が延長され、メンテナンスの負担が軽減される。また、レーダーの取り付け位置、軸ズレ角度を自動的に測定し、調整することができる。その結果、レーダーの寿命が延長され、メンテナンスの負担が軽減される。

小野測器 営業本部商品統括グループマネージャー 小平 圭一氏

ゼロ速度から面内非接触振動計測

小野測器は非接触で物体の移動速度や回転速度を測ることができ、通常の保護眼鏡の使用事例を紹介。巻き付けムラがあると電池間にベルトが逆方向に「LV7000」を巻くことが必要で、同製品は工程における電極活の安全性を確保。保護対策や教育が不要送り速度を非接触で測定できる。

野尻操氏

EV充電システムでのEMC試験サポート

菊水電子工業ソリューション事業部長 野尻操氏

EV充電システムでのEMC試験サポート。野尻操氏は、EV充電システムでのEMC試験をサポートしている。EV充電システムでのEMC試験は、充電機とEVとの間で発生する電磁干渉を抑制することが重要である。野尻氏は、EMC試験のノウハウを蓄積し、顧客の課題を解決している。